

(様式2)

令和6年3月15日

京丹後市議会議長 谷津伸幸様

会派名 無会派
代表者氏名 松本 聖司



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程 令和5年11月20日(月)
- 2 場所
 - (1) 近畿地方整備局 川尻竜也道路企画官
 - (2) 近畿中部防衛局 茂籠勇人局長
- 3 目的
 - ・京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟の活動目的のための要望書手交
- 4 該当する政務活動費の使途項目
 - ・要請陳情費
- 5 支出経費の内訳と金額
 - ・バス借上げ費用の6分の1 ¥4,721円
- 6 参加議員名
 - ・松本聖司

7 活動成果の概要、所見

I. 近畿地方整備局 川尻道路企画官

近畿地方整備局道路企画官の川尻氏を訪問。入室後、直ちに順次名刺交換をし、要望書の手交を行う。その後参加者全員で写真撮影の後、着席。

池田会長から要望書の内容である①令和10年代の全線開通に向けた年次計画 ②大宮峰山道路の令和8年度までの完成 ③網野 IC から兵庫県境までの R6 年度までの都市計画決定に向けた支援 ④峰山 IC から網野 IC までの事業化を有料化開始までに の4点についての説明とともに、令和7年度から宮津 IC

通過に伴う有料化による加速化の形が見えていないとの話があった。議連参加者から発言があり、私（松本聖司）からは、京丹後市内において、期待する声に温度差があり、久美浜町内の方からは、「早くてもハンドルが持てなく先の話」との声も多く、網野側と兵庫県境側との両方からの工事を求めたいと申し上げた。

川尻企画官からは、山陰近畿自動車道の必要性を再認識した。京丹後市の背骨であり、一気に進まないがまずは峰山まで進める。令和10年代全線開通との要望だが地元の協力をいただき進めていく。京都府と連携するとともに用地買収の協力をお願いしたい。との回答をいただいた。

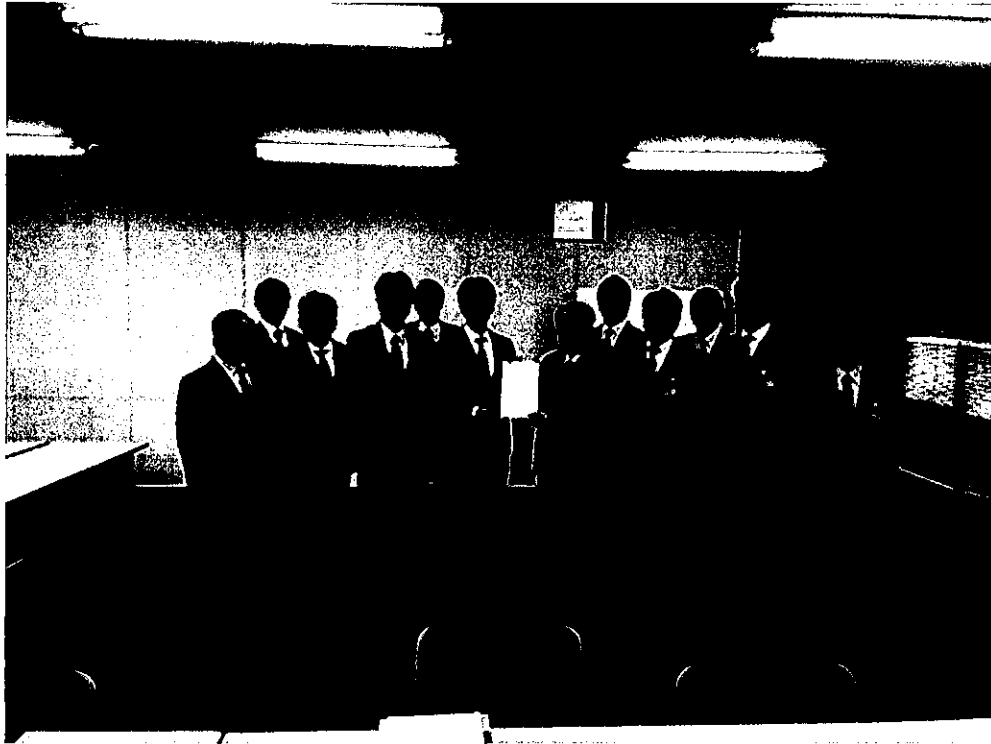


近畿地方整備局において川尻企画官に要望書の手交

II. 近畿中部防衛局 茂籠局長

近畿中部防衛局長の茂籠氏を訪問。入室後、直ちに順次名刺交換をし、要望書の手交を行う。その後参加者全員で写真撮影の後、着席。池田会長から、要望書に沿って、防衛省の道路事業予算の多くを割いての事業実施への感謝。基地内への隊舎完成に伴う事故等の心配があること。京都府による事業実施の3事業及び（仮称）屏風岩橋の要望を行った。茂籠局長からは、私も京丹後出身であり道路事情は承知している。外村バイパス及び上野・平バイパスは目に見える形になっており、開通することにより利便性の向上につながる。京丹後への補助については頑張っていることを理解いただきたい。屏風岩橋については、現状での事業化は難しいとの回答であった。議連参加議員からも発言があり、私（松本聖司）からは、局長が新治区出身の話も伺い嬉しく感じている。地元配慮した形でのバイパス工事を進めていただいていることも感謝している。そのことにより地域の防衛省に対する信頼関係も高まっていると申し上げた。また、宇川のガソリンスタンド支援について、以前難しいといわれていると申し上げると局長から改めて補助メニューはないとの返

事であった。



近畿中部防衛局において茂籠局長に要望書の手交

Ⅲ. 所見

山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟で、防衛省近畿中部防衛局及び国土交通省近畿整備局へ要望活動を行った。防災減災国土強靱化の加速化対策により、山陰近畿自動車道路の早期完成に向けった取り組みが目に見える形で、地元住民に説明できない状況となっている。特に、昨年宮津天橋立 IC から京丹後大宮 IC までの共用部分の維持管理費が、先線における事業化の大きな足かせとなっており、京丹後市内（兵庫県境）の早期事業化・全線開通に向けた取り組みの一環として、令和10年度台への全線開通を要望する中で、京丹後市内からまた、逆方向から宮津天橋立 IC を通過する車両に対し、新たな通行料金を認めてきたところである。このことは、令和10年代全線開通に向けたタイムスケジュールを示すことにより、地域経済に新たな投資を促すことにも大いに期待するところであり、（仮称）大宮峰山 IC から網野 IC までの事業化を令和7年度における新たな有料化課金までに実現化するための努力を形にしていきたい。また、網野 IC から府県境までの早期のルート決定にむけて、取り組みを強化していきたい。

また、防衛省においては、茂籠局長より力いっぱい取り組んでいることを理解してほしい。との発言があるように、京都府の事業として予算面をお世話になっていること、特に地域住民声、意向に十分配慮していただいていると認識している。その上で、上野・平バイパスについては令和3年度完成予定が、当初予算の倍以上膨れ上がるとともに完成見込もたっていない。ここ1、2年においては工事進捗もないとの声も出ている。改めて防衛省からの各工事における予算付けや進捗を個別に把握すること

も必要と感じている。

また、米軍における通信施設を設置している地域は、改めて申すまでもないが丹後町宇川地域である。近年の少子高齢化進行が、京丹後市内において最も顕著な地域であり、合併以来中学校の再配置、小学校の再配置についても計画の俎上に上がっており、地域から学校がなくなる。生活食料品の店舗、金融機関の撤退と地域から活力が減じている。その上、地域内で唯一のガソリンスタンドの閉鎖が発表されたところで、過去の近畿中部防衛局長においては、どのようなことでの民生安定事業等において地域振興に取り組ませてもらいますとの発言もあり、防衛省、京丹後市を含めた地域の活性化が求められる現状であり、多くの皆さんお英知を結集し頑張ってまいりたい。

8 成果物、資料等

- ①近畿地方整備局「要望書」京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟
- ②近畿中部防衛局「要望書」京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟